

水戸運転協議会お花見交流会！



4月28日(火) 水戸運転協主催の「お花見交流会」が水郡線沿線の静公園内にて行われました。ここ静公園は八重桜の名所となっていて、この時期屋台も出店するほどの賑わいを見せるところでもあります。今年は、温暖化の影響からか八重桜も散り際になっていましたが、天候にも恵まれ、会場には30名を超える仲間が結集し、桜吹雪の中での交流会となりました。

水戸地本・佐藤委員長も見えられ、1047名不採用問題について水戸での新採対策行動報告等の挨拶がありました。東日本運転協議会からは木立議長が参加して、現在の取組みの中で「検修関係の外注化問題」について述べられました。

また、隣の東京運転協からも中里議長以下2名の参加と常磐線のつながりで松戸運転区・車両センターからも参加があり、東京と水戸との交流の場にもなり、情報交換もできました。

交流会は水戸運転協・菊池議長の挨拶とOBの森岡さんによる乾杯の音頭で進行しました。



お酒も入り、口が滑らかになると各職場での取組みや悩みも出され、特に所属する労組の違いを超えた要求である『上野駅乗務員詰所のひどさ』が改めて出され、手直しをしたという会社側とは裏腹に現在もほとんど状況が変わっていないことで、疲れた体を癒せない詰所の現状が訴えられていました。また、この間取り組まれた新採対策でも今まで手出しが出来なかったことから見れば大きく前進したことや、今までの取組みを教訓にここ水戸でも新採の加入をとの固い決意も出されました。

それやこれやで、あっという間に解散の時間が来てしまい、名残り惜しかったのですが、仲間と桜に別れを告げ、参加された皆さんが帰路につきました。

準備をしていただいた水戸運転協の皆様、大変ご苦労様でした。今年も豪華手料理が盛り沢山でした。食べきれなかった料理は一部東京方面からの参加者の帰りの電車での宴会で美味しくいただきました。ありがとうございました。